

従業員向け

放課後等デイサービス評価表

○ 本評価表は、放課後等デイサービスに従事する従業員の方に、事業所の自己評価していただくものです。

「はい」又は「いいえ」のどちらかに○を記入するとともに、従業員の視点で、「事業所が工夫していると思う点」や「改善が必要だと思われる点」などについて記入してください。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	0	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	0	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	0	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	0	常に整理整頓を心がけ安全に過ごせるよう配慮している。また季節や行事を感じられるよう部屋作りを心がけている。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	0	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	0	毎日ミーティングの時間に気づきや考えなどの意見を交換し、改善に努めている。 日々の会議や月1回の全体会議で提案、検証し改善に努めている。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	6番同様
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	5	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0	実務経験に基づいて資質向上を行っている。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5	0	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0	職員で朝の会議で日々話し合い、モニタリング時に再び検討し、作成前にも意見を聞いている。作成後には再検討し、共通理解した上で保護者に提案している。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	0	

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0	職員みんなで日々の子どもの様子から支援内容など適切かなど意見をのべあい、よりよい支援ができるよに考えている。 日々の朝の会議、月1回の全体会議にて全員の意見を出した上で検討している
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	0	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0	ちょっとしたことで職員間で共有するようにしている
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	0	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	0	5	地域交流に関してはコロナ感染症予防の為、行っていない
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5	0	地域交流はコロナ以降行っていない
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	0	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	0	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	0	5	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	0	5	まだ移行した子がいないため行っていない。 開設して1年未満な点と卒業する児童がいない。小・中一貫の卒業者はいた。（担任と口頭で確認）
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	0	5	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	5	24番と同様
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	0	5	

	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	0	5	
保 護 者 へ の 説 明 等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5	0	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	0	5	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	0	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0	絵カードやクレヨン、指差し等
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	5	
非 常 時 等 の 対 応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	0	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	0	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	0	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0	

	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	0	

保護者向け

放課後等デイサービス評価表

(保護者の皆さまへ)

○本評価表は、放課後等デイサービスを利用するお子さんの保護者等の方に、事業所の評価をしていただくものです。

「はい」「どちらともいえない」「いいえ」「わからない」のいずれかに○を記入していただくとともに、「ご意見」についてもご記入ください。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	11	3		3	見学时より人数が増えているので不明
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	14	1		2	車で送るさいに勝手に外に出てしまう子がいてきけんだと感じた。 見学时より人数が増えているので不明
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境（※1）になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	12	3		2	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	15	1		1	
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	10	4		3	
	6	事業所が公表している支援プログラム（※2）は、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	14	1		2	
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）（※3）が作成されていると思いますか。	16	1			
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	14	2		1	
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	13	1		3	どんな内容が個別課題がわからない時がある
	10	事業所の活動プログラム（※4）が固定化されないよう工夫されていると思いますか。	14	1		2	
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	6	1	3	7	利用し始めて2ヶ月半と期間が短いのでわからないに印をつけました。（以下、同じです）※1
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	16	1			
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	16			1	忘れてしまっている
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング（※5）等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	2	1	5	9	※1
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	12	4		1	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	10	4		3	※1
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	13	3		1	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1	2	8	6	※1

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	11	4		2	
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	14	2		1	LINEを活用し、細かな連絡相談がとてもしやすいです。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	15	2			定期的に活動内容にサインするのが時間が少なく読めないまま内容をしっかり読まずサインしているのでそれはどうかと思う。もう少し事前にサインするならもっと時間をとるべきです。他の所ではそういうのは、時間をかけてサインをしています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	14	1		2	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	10	2	1	4	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	7		1	9	
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	13	2		2	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	11	2		4	
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	14	1	1	1	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	13	2	1	1	
	29	事業所の支援に満足していますか。	14	1		2	

※1「本人にわかりやすく構造化された環境」とは、子ども本人がこの部屋で何をするのがわかりやすいよう、机や本棚の配置などを工夫することです。

※2「支援プログラム」とは、事業所における総合的な支援の推進と事業所が提供する支援の見える化を図るため、事業所で行われている取組等について示し、公表することが求められています。

※3「放課後等デイサービス計画（個別支援計画）」は、放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援方針や支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成し、保護者等への説明を行うとともに同意を得ることが義務付けられているものです。

※4「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの発達状況や障害の特性等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

※5「ペアレント・トレーニング」は、保護者が子どもの障害の特性やその特性を踏まえた子どもへの関わり方を学ぶことにより、子どもの行動変容することを目標とします。

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	かみふうせんトレイス			
○保護者評価実施期間	令和7年1月8日 ～ 令和7年2月14日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19人	(回答者数)	18人
○従業者評価実施期間	令和7年5月8日 ～ 令和7年5月13日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5人	(回答者数)	5人
○事業者向け自己評価表作成日	年 月 日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	色々な資格を持った専門職が配置されていることで幅のある意見を出し合える	児童の長所を活かした支援方法や短所の底上げの為の支援方法を全員で提案、検討、改善し、児童だけではなく職員の成長にも繋がっている。	個別支援計画書やアセスメント表などを意識し、集団活動内容や個別課題を工夫している。
2	社会性を育てている	集団活動で、協力し合うことの必要性、楽しさ、達成感を味わい、自分の気持ち優位ではなく、相手の気持ちを考えて行動できるように支援している。	SSTや運動プログラムに取り入れている。難しい児童には指導員が補助している。
3	自分で決めた事を守ろうとする、守れるようになる。将来に向けて自立できる様に支援する。	パールンポイント表の目標を本人に決めてもらって、守るよう努める。遊んでばかりでは生きていけない事を目標達成＝ポイントを通じて学んでいく。	欲しい物を得る為の努力は必要であることをお金を稼ぐ＝ポイントを得る、計算を自分ですることでモチベーションに繋げる。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員の平均年齢が高い。(強みでもある)	公園活動時に長くは知られない。体力不足。瞬発力がない。	体力強化。若年層の採用に力を入れる。
2	放課後等ディサービスの経験者数が少ない。	経験が少ないため引き出しも少ない。	全員で考え、意見を出し合って検討、改善を日々に行っている。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 かみふうせんトレイス

公表日 年月日

利用児童数 19名

回収数 17 (兄弟は1として換算)

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	64.7%	17.6%	0.0%	17.6%	見学时より人数が増えているので不明	利用するこどもたちが十分に活動できるようなスペースを確保しています。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	82.4%	5.9%	0.0%	11.8%	車で送るさいに勝手に外に出てしまう子がいてきけんだと感じた。 見学时より人数が増えているので不明	送迎するこどもと職員数は適切であり、引き渡し中には車のエンジンを切り、鍵も抜いた状態で対応しています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	70.6%	17.6%	0.0%	11.8%		入口は土足の場所を絨毯の色を変えて区切ることでバリアフリー化しています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	88.2%	5.9%	0.0%	5.9%		アルコール消毒を玄関に設置しています。 また、児童生徒への手洗いの徹底と指導を行っており、手洗い場には弱酸性の薬用洗剤とペーパータオルを設置し、衛生面の対策を徹底しています。
	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	58.8%	23.5%	0.0%	17.6%		アセスメントの結果から個別支援計画書、専門的支援実施計画書を作成し、指導員に周知伝達し、朝の会議で前日の児童の様子、今日の方針を話し合い、連携を取りながら日々療育を行っています。

適切な支援の提供	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	82.4%	5.9%	0.0%	11.8%		毎月発行しているお便りに療育予定カレンダーを掲載し、それに沿った療育支援を提供しています。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	94.1%	5.9%	0.0%	0.0%		利用開始前に保護者と面接を行い、お子様の様子や発達の状態、ニーズなどのヒアリングをし、それをもとにアセスメントを行い、個別支援計画書の作成を行っています。また、指導員や専門職の意見を含めて作成を行っています。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	82.4%	11.8%	0.0%	5.9%		モニタリングで伺ったお子様の特性等からどのような支援を行うか個別支援計画書に具体的に提示し、理由等を含めた説明をし、確認を取っています。また、指導員にも周知し、支援を提供しています。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	76.5%	5.9%	0.0%	17.6%	どんな内容か個別課題がわからない時がある	計画を立てる際に、説明し納得していただいたうえで署名と捺印をいただいています。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	82.4%	5.9%	0.0%	11.8%		体幹トレーニングやサーキットトレーニングを行うプログラム、季節行事を感じながらその行事にまつわる工作を行う製作プログラム、集団でソーシャルスキルトレーニングを行うプログラムなど成長につながるプログラムを週ごとで構成しています。また日によって内容等を変更することで利用数が多い児童も楽しく参加できるような工夫を行っています。

	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	35.3%	5.9%	17.6%	41.2%	利用し始めて2ヶ月半と期間が短いのでわからないに印をつけました。 (以下、同じです) ※1	感染拡大を懸念し、現時点で左記のような交流活動は行っていない。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	94.1%	5.9%	0.0%	0.0%		ご利用前に見学や体験をしていただき、その際に活動内容などの説明を行っている。利用を希望された場合はサポートブックを配布し、情報提供頂いた内容とニーズなどをヒアリング後に個別支援計画書を作成し、契約後に説明を行っています。また、契約の際に重要事項説明書をお見せしながら利用負担についての説明を実施しています。利用後に負担内容の変更などの重要事項に変更があった場合は、都度個別で説明し、そのうえで同意を頂いています。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	94.1%	0.0%	0.0%	5.9%	忘れてしまっている	放課後等デイサービス計画の説明を行う際に、計画内容に納得してもらったうえで署名と捺印をいただいています。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	11.8%	5.9%	29.4%	52.9%	※1	ペアレントトレーニングを行うに当たり職員に技術や知識が必要となるため、現段階で実施していないが、送迎や面談の際に、できる限りの相談を受け付けています。

保護者への説明等	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	70.6%	23.5%	0.0%	5.9%		送迎の際に日中のお子様の様子などを送迎スタッフよりお伝えしています。半期に一度の定期的な面談と必要に応じて、家庭訪問や来所面談を行い、そこで課題についてお伝えしていきたいことがあるときや、保護者からの要望があれば管理者から個別で電話にて相談支援をしています。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	58.8%	23.5%	0.0%	17.6%	※1	面談や送迎の際に、できる限りの相談を受け付けています。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	76.5%	17.6%	0.0%	5.9%		送迎の際に日中のお子様の様子をお伝えしている。また、半年に一度の面談で最近の様子を伺い、その結果に応じた目標の設定、関り方などの助言を行っています。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	5.9%	11.8%	47.1%	35.3%	※1	現時点で左記のような交流活動は行っていません。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	64.7%	23.5%	0.0%	11.8%		送迎の際にできる限り相談を受け付けています。また、時間を設けて再度相談したいという申し出があった場合は、できる限り迅速に面談日程を調整し、不安解消に尽力しています。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	82.4%	11.8%	0.0%	5.9%	LINEを活用し、細めな連絡相談がとてもしやすいです。	柔軟な対応ができるようにLINEを活用し、欠席連絡や面談の日程調整などを行っています。

	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	88.2%	11.8%	0.0%	0.0%	定期的に活動内容にサインするのが時間が少なく読めないまま内容をしっかり読まずサインしているのでそれはどうかと思う。もう少し事前にサインするならもっと時間をとるべきです。他の所ではそういうのは、時間をかけてサインをしています。	月に一度のお便り配布と、ブログ・SNSで普段の療育の様子を発信しています。また、自己評価の結果もホームページに掲載を予定している。また署名が必要な書類は、ご都合が合わない時にはまた別日に書類に署名をいただいています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	82.4%	5.9%	0.0%	11.8%		職員一同、個人情報保護法を遵守しています。契約の際に個人情報については書面及び口頭でお伝えし、承諾頂いている。個人情報については鍵付きの書庫で保管しており、ブログでの写真掲載は個人が断定できないよう画像処理を行っています。日々の連絡帳での写真は該当利用者以外のお子様以外の顔は個人が特定できないよう画像処理を行っています。
非常時等	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	58.8%	11.8%	5.9%	23.5%		各マニュアルを策定し、職員に周知徹底しています。また、職員がいつでも閲覧できるように保管しています。訓練は、毎月発行するおたよりに訓練予定を記載して配布しています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	41.2%	0.0%	5.9%	52.9%		避難訓練や防災プラザへの見学などを通して非常災害の発生に備えた訓練等を実施しています。また、今年度は地震避難訓練の実施も予定しています。

の 対 応	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	76.5%	11.8%	0.0%	11.8%		机の角にカバーを付ける、療育室内の扉に鍵の取り付け、遊ぶ場所にはプレイマットを敷くなど子どもたちが安心安全に遊べるような空間の整備を徹底しています。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	64.7%	11.8%	0.0%	23.5%		事故や怪我が発生した時には保護者に迅速に連絡を入れ、経緯、施した処置、状態を説明し、今後の対応について相談させていただいております。
満 足 度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	82.4%	5.9%	5.9%	5.9%		今後もこどもたちが安心して通所できるように努めてまいります。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	76.5%	11.8%	5.9%	5.9%		通所を楽しみにしてもらえようような様々な療育プログラムの企画だけでなく療育室内の環境整備を徹底し、引き続き通所を楽しみにしてもらえようように努めてまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	82.4%	5.9%	0.0%	11.8%		将来の子ども達の自立に向けて子どもたちに寄り添った支援を提供できるように最善を尽くしていまいります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 年 月 日				
事業所名		公表日 年 月 日				
環境・体制整備		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%	十分なスペースが確保できている。	今後も継続していく。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	100%	0%	施設基準規定以上の職員数での対応を行っており、よりよい専門的な療育の提供も適宜行っている。	改善点はないか全員で意識し、話し合いを行っている。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100%	0%	お菓子を食べる机、学習をする机など用途によって場所を変えるようにしている。遊ぶ場所にはプレイマットを敷くなど空間を区切っている。	さらなる改善ができるように努める。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	常に整理整頓を心がけ安全に過ごせるよう配慮している。また季節や行事を感じられるよう部屋作りを心がけている。	さらなる改善ができるように努める。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%	0%	クールダウンをしたい時や静かに過ごしたい時に利用できるように別室を用意している。	さらなる改善ができるように努める。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	100%	0%	毎日ミーティングの時間に気づきや考えなどの意見を交換し、改善に努めている。日々の会議や月1回の全体会議で提案、検証し改善に努めている。	さらなる改善ができるように努める。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	当社ホームページ内においていつでも閲覧可能となっている。	今後も継続する。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	毎日ミーティングの時間に気づきや考えなどの意見を交換し、改善に努めている。日々の会議や月1回の全体会議で提案、検証し改善に努めている。	今後も継続して業務改善に努める。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0%	100%	現在外部から評価や業務改善に関するアドバイスを受けたことはない。	検討し、今後そのような機会を設け、業務改善に努める。

	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	実務経験に基づいて資質向上を行っている。 研修などを開催する予定をしている。	今後研修などの開催、参加を検討し、職員のさらなる資質向上を図る。
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%	翌月のプログラムを職員で会議し、毎月の発行するお便りに週ごとのプログラムを掲載している。	今後も継続する。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100%	0%	保護者のモニタリングや送迎時に行っている日々の連絡業務などから支援計画会議を行い、検討している。	今後も保護者との連携を図り、放課後等デイサービス計画の向上に努める。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	職員で朝の会議で日々話し合い、モニタリング時に再び検討し、作成前にも意見を聞いている。作成後には再検討し、共通理解した上で保護者に提案している。	作成に関しては今後も継続し、子ども一人ひとりにあった放課後等デイサービス計画書を作成していく。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	放課後等デイサービス計画書作成時に全職員と確認し、支援方法等共有し、検討、実施をしている。	従来通り計画に沿った支援を提供し、より良い療育を実施していく。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%	0%	フォーマルなアセスメントは行えていないが、インフォーマルなアセスメントは日々行っている。	改善点を分析し、業務改善に努める。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%	職員みんなで日々の子どもの様子から支援内容など適切かなど意見を述べあい、よりよい支援ができるよに考えている。 日々の朝の会議、月1回の全体会議にて全員の意見を出した上で検討している。	今後も継続する。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%	ミーティングで日々の立案及び検討を行っている。	今後も継続する。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	季節や行事に応じてプログラムの選定を行っている。	今後も継続する。

援 の 提 供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	放課後等デイサービス計画では個別で行う支援、集団活動で養う能力それぞれの面で目標や支援の内容を計画し、支援を行っている。	今後も継続する。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	毎日支援前にミーティングを行い、前日の気になる点やちょっとしたことで職員間で共有するようにしている。また、本日の活動内容や役割分担についても確認してから支援を行っている。	今後も継続していく。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%	0%	支援終了後、職員間で子どもの様子や気になる行動を共有している。	今後も継続し、業務改善に努める。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	HUGを使用し、利用時の様子を記録し、保護者に報告している。また、その記録をもとに、支援内容の検討、放課後等デイサービス計画の作成を行っている。	今後も継続し、業務改善に努める。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	半年に一度モニタリングで伺ったお子様の特性等からどのような支援を行うか個別支援計画書に具体的に提示し、理由等を含めた説明をし、確認を取っています。また、指導員にも周知し、支援を提供しています。	今後も継続し、業務改善に努める。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	0%	100%	地域交流に関してはコロナ感染症予防の為、行っていない。他の「自立支援と日常生活の充実のための活動」「創作活動」「余暇の提供」を組み合わせた支援を提供している。	今後も継続し、業務改善に努める。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100%	0%	ポイントでお菓子を交換する際には自身でポイントをどれくらい使い、何と交換するかを決め、個別課題ではどのプリントを頑張るか、集団活動、掃除当番など複数の選択肢の中から決定してもらっている。	今後も継続する。
関 係 機	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	HUGの記録や職員の報告などから、本人の様子を把握したうえで、児発管が参加している。	今後も継続する。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%	日々の送迎の際に学校に子どもの様子など情報提供および共有を行っている。	今後も継続する。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100%	0%	お便りが発行された際にはLINEでお便りの写真を送付してもらい、行事や下校時間などを把握し、トラブル発生時や当日の送迎変更などはLINEや電話などで連絡を取り合っている。	今後も継続する。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	0%	100%	紙面での情報共有は得ている。	今後も継続する。

関 や 保 護 者 と の 連 携	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	0%	100%	まだ移行した子がいないため行っていない。 開設して1年未満な点と卒業する児童がいない。小・中一貫の卒業者はいた。（担任と口頭で確認）	移行があった際にスムーズに情報提供ができるように情報精査を適宜行っていく。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	0%	100%	外部研修には積極的な参加はできていない。	外部研修の情報を掌握し、積極的に参加できるようにしていく。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0%	100%	コロナ感染症予防の為、行っていない。	今後参加を検討し、業務改善に努める。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	0%	100%	協議会等が開催されている情報がないため、参加にいたっていない。	今後参加を検討し、業務改善に努める。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	HUGのサービス提供記録を使用し、当日の様子を伝えるとともに、送迎時にも詳しい情報提供を行っている。	今後も継続する。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	0%	100%	送迎時やモニタリングの際に相談を受けるようにしているが、ペアレントトレーニングなどは行っていない。必要があるため、今後計画、検討する。	今後計画、検討を行う。
保 護 者 へ の 説 明 等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	契約の際に丁寧に説明を行っている。	今後も継続する。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%	モニタリングの際にご家族の意向や子どもの特性を加味した目標設定や支援方法を考え、計画している。	今後も継続する。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100%	0%	放課後等デイサービス計画の説明を行う際に、計画内容に納得してもらったうえで署名と捺印をいただいています。	今後も継続する。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	送迎の際にできる限り相談を受け付けています。また、時間を設けて再度相談したいという申し出があった場合は、できる限り迅速に面談日程を調整し、不安解消に尽力しています。	今後も継続する。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	0%	100%	現在父母会やきょうだい同士での交流を行えるような催しは開催していない。	夏祭りなど行事イベントなどを開催し、保護者同士やきょうだい同士が交流できる機会を検討していく。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	苦情があった時には職員に全体周知し、児発管の指示のもと対応を行っている。自社内で判断できない際には市の障害福祉課に助言を求めながら迅速に対応している。	今後も継続する。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	毎月のお便り配布で普段の療育の様子や行事予定等をお知らせしている。またブログやインスタでの情報発信も行っている。	今後も継続する。

	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	職員一同、個人情報保護法を遵守している。契約の際に個人情報については書面及び口頭でお伝えし、承諾頂いている。個人情報については鍵付きの書庫で保管しており、ブログでの写真掲載は個人が断定できないよう画像処理を行っています。日々の連絡帳での写真は該当利用者以外のお子様以外の顔は個人が特定できないよう画像処理を行っており、職員全員が徹底している。	今後も継続する。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	目から情報を入れるために絵カードやクレヨン、指差し等を利用し、スケジュールや説明の理解がおよびやすいような工夫、また絵カードやボディランゲージで自身の気持ちを伝える方法を伝えている。	今後も継続する。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0%	100%	新型コロナ等感染症などの蔓延防止のため現在は実施していない。	今後計画、検討していく。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	各マニュアル策定及び、規定に準じた訓練を行っている。マニュアルについては職員がいつでも確認できる場所に保管している。	今後も継続する。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	BCPマニュアルの策定及び、1年に2回地震、火災の避難訓練を行い、規定に準じた訓練を行っている。マニュアルについては職員がいつでも確認できる場所に保管している。	今後も継続する。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	契約時に確認するとともに、服薬などはサポートブックに記入してもらい、職員がいつでも確認できる場所に保管している。	今後も継続する。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	0%	契約時に確認するとともに、サポートブックに記入してもらっている。また、アレルギーを持った利用者の一覧表を作成して、すぐに確認できるようにしている。	今後も継続する。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	安全計画を策定し、安全管理に徹底している。	今後も継続する。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%	0%	契約の際に丁寧に説明を行っている。また、トラブルや怪我をした際にはLINEや電話で状況を連絡し、今後の対応について相談をさせていただいております。	今後も継続する。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%	ヒヤリハット提出後、ミーティングでの情報共有、いつでも確認できるようにファイルにまとめて保管している。	今後も継続する。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	月一回の定例会議で虐待に関する認識を共有している。また、職場の環境と職員間の人間関係も風通しよくしている。	今後も継続する。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	100%	0%	契約時に身体拘束について説明し、了承を得たうえで書類にサインをいただき、職員にも周知している。	今後も継続する。